

甲府法人会館(旧甲府商業会議所ビル) (甲府)

旧甲府商業會議所の威厳を「じませる重厚な造りの甲府法人会館大ホール」。天窓の「ザ・ザイン」が目をひく(撮影・赤池宗治)

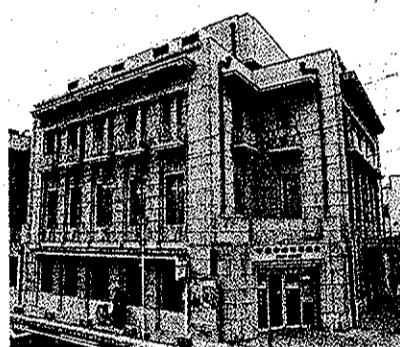


山本 100 漫畫

4

ときめく
21世紀

次回は28日付に掲載します



会議場を核にした設計が随所に見える甲府法人会館――いずれも甲府市中央4丁目

This map shows the central area of Kofu City during the Taisho period. Key locations marked include:

- 甲府停車場 (Kofu Station)
- 舞鶴公園 (Mitsuke Park)
- 県立中学校 (Prefectural Middle School)
- 競馬場 (Racing Track)
- 春日小学校 (Kasuga Elementary School)
- 穴切町 (Anjiracho)
- 県庁 (Prefectural Government Office)
- 柳町 (Yanagicho)
- 市役所 (City Hall)
- 錦町 (Kimochi)
- 山田町 (Yamada)
- 八日町 (Hachidomachi)
- 三日町 (Sandomachi)
- 市立商業会議所 (Prefectural Commercial Association)
- 甲府監獄 (Kofu Prison)
- 市立商業学校 (Prefectural Commercial School)
- 太田町 (Ohta)
- 相生小学校 (Yamaboshi Elementary School)
- 県立高等女学校 (Prefectural High School for Girls)

入金を合わせ二千万円の資金を確保。一五年四月十九日着工、翌二六年四月二十日完工した。設計と工事は建築家藤半次郎が心血を注いだ。

久保田さんと大ホールの内部を見た。外観は垂直に伸びる直線的なプロポーションだが、内部は、当時欧州ではやった装飾美術アールデコの曲線的なフォルムが随所に顔を出す。人造大理石のステージは聴く側に向かって真ん中が膨らんだカーブを描く。ステージ正面の北窓からは商工業本拠地が一望できた。

関東大震災による経済的打撃と昭和恐慌のあらしを目前に、中央線の電化促進や身延線の建設など社会基盤整備が、経済界に新たな視点を開かせていた。

「『箱物』を建設するのでではなく、商工業者が『生き方』そのものを構築していったのがこの建物だった」と、久保田さんは説く。

甲州財閥の若尾謙之助、同会議所会頭の製糸家矢島栄助、銀行家の名取忠麿らが高額寄付者として名を連ねた。寄付金十三万円に積立金や借

じりふるを見ながら論を説くのである。それは時の金頭であつたり、甲州財閥の雄であつたり…。「生きた経済」を支える会議の場として、誠にむわむわして、「シンボライズされた場」としてあつた。しかも一辺六畳余の大天窓から降り注ぐ光にあふれていた。

現代風に言えば「コンベンションセンター」そのものだという。会議場である大ホールを核に、建物全体が「スクエア（広場）」機能を持つように、自由に行き来できる空間が配置された。最上階に多目的な「コンベンションスペース」、二階に事務局機能、一階に物産陳列ゾーンと食堂や酒場の飲食テナントがあてられた。街角から人が流れ込んで行く。会議が開かれ、物語られた。

金趣意書が有力商工業者の間に配られた。

「建設地を市の中央である柳町に、鉄筋コンクリート三階建て洋館どし、本会議所物産陳列館および各事業組合事務所を含み、諸多の公会や各種集会に供する。」これにより都市の面目を発揚し、本市唯一の社交機関たらしめんとする趣意書からも建設目的がコンベンションにあつたことが歴然としていた。

県内に現存する最古の鉄筋コンクリート建築物である甲府法人会館は、1926年に旧甲府商業会議所ビルとして建設された。関東大震災の教訓を生かした耐震構造。甲府空襲の戦火もかいくぐり、改修を重ねながら現役のビルとして使用されてきた。77年の同會議所移転に伴い甲府法人会館となり、全面改修と復元が行われた。甲府市中央4の12の21。